

摂南大学理工学部生命科学科 中室克彦

2010年7月17日(土)～18日(日)の2日間東京コンフェレンスセンター(東京品川)において開催された第11回国際統合医学会学術発表会において、特別講演を行う機会を得たので報告する。2日間の特別講演などの主なプログラムを以下に示す。私は、18日(日)の特別講演7において「オゾン療法の現状と将来」のタイトルで、①オゾンおよびオゾン療法の歴史、②日本医療環境オゾン研究会の活動内容、③オゾン療法の適応症、④大量自家血液オゾン療法(Major Autohemotherapy with ozone)において血液中で何が起きているか、⑤大量自家血液オゾン療法の作用メカニズム、⑥オゾン療法の安全性および禁忌、⑦オゾン療法を安全に普及させるためになどの内容で講演を行った。以下に2日間のプログラムを示す。

7月17日(土) プログラム

- 9:10-10:00 会頭講演 統合医療の中の先端医療 演者: 水上 治(健康増進クリニック)
- 10:00-11:30 特別講演1 Pharmacologic Ascorbate as a Pro-oxidant: An Unanticipated Role in Cancer Treatment、演者: Qi Chen (Laboratory of Immunopathology, NIH)
- 12:00-12:30 ランチョンセミナー1 ビタミンC製剤の使い方ーがん治療からアンチエイジングまで
演者: 柳澤厚生(点滴療法研究会)
- 12:30-13:00 ランチョンセミナー2 患者からみた癌代替治療の展望
演者: アン・E・フォンファ(アニー・アップルシード・プロジェクト代表)
- 13:30-14:30 特別講演2 Globalisation of Chinese Herbal Medicine with Plant Stem Cell
演者: M. B. Ali (Chinese Preventive Medicine Association)
- 14:30-15:30 特別講演3 臍帯血幹細胞とその臨床 演者: 松平健吾(株SK再生医療研究所)
- 16:00-17:00 特別講演4 肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法の現状と将来展望
演者: 坂井田功(山口大学大学院医学系研究科消化器病態内科学)
- 17:00-18:30 ワークショップ がんにおける温熱療法(パネルディスカッション)
講師: 阿部博幸((医)博心厚生会九段クリニック)、パネラー: 水上 治(健康増進クリニック)、飯島位夫((医)博心厚生会九段クリニック)、藤沼秀光(藤沼医院)

7月18日(日) プログラム

- 9:10-10:00 特別講演5 医療現場におけるサプリメントの適正使用に向けた展望
演者: 蒲原聖可(健康科学大学)
- 10:00-11:00 特別講演6 動的平衡ー生命を解くキーワードー
演者: 福岡伸一(青山学院大学理工学部化学・生命科学科)
- 11:00-11:30 特別講演7 オゾン療法の現状と将来
演者: 中室克彦(摂南大学薬学部)
- 11:30-12:00 特別講演8 血液クレンジング療法の作用機序と臨床、
演者: 森 吉臣(赤坂AAクリニック)
- 12:00-12:30 ランチョンセミナー3 医療機関専用サプリメントの科学的根拠と臨床応用について
演者: 蒲原聖可(健康科学大学)
- 12:30-13:00 ランチョンセミナー4 統合医療のさまざまな治療の補完に貢献できる「インディバ CRet System」、演者: 山口祐司(株インディバ・ジャパン)
- 13:30-14:30 特別講演9 マイルド加温療法の基礎(熱ショックタンパク・HSP70の誘導)と臨床(癌治療への併用)
演者: 伊藤要子(愛知医科大学医学部泌尿器科学講座)
- 14:30-15:30 特別講演10 樹状細胞ー基礎研究から臨床へー
演者: 稲葉カヨ(京都大学大学院生命科学研究科)
- 16:00-17:00 特別講演11 新しい脳機能イメージング法 NAT (Neuronal Activity Topography)
演者: 武者利光(東京工業大学脳機能研究所)